



ホームページ
「中野あきと」

日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

みどりと清流

中野あきと事務所

〒191-0041 日野市南平7-6-72

TEL・FAX 042-599-3350

発行責任者 小林 進

第134号

2013年
6・7月合併号

しん 赤旗
ぶん

日刊紙1ヶ月 3400円

日曜版1ヶ月 800円

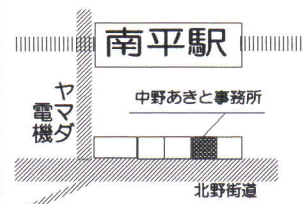
お申し込み 党南多摩事務所

TEL 042-374-4384

または中野事務所へ

法律・生活相談など

お気軽にお立ち寄り下さい



都議選

日本共産党躍進 8議席から17議席へ

日野・ちかざわ美樹候補は及ばず

公約実現のため、引きつづきががんばります

今回の都議会議員選挙で、力及ばず議席を獲得することができませんでした。ご支持・ご支援いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。これからは掲げた公約実現のために全力を尽くしてがんばります。

今回私は、日野選挙区において、日本共産党の公認候補であるとして

先に行われた東京都議会議員選挙で、日本共産党は8議席から17議席へと全都で大きく躍進することができました。日野選挙区では、ちかざわ美樹候補が健闘しましたが当選を果たすことはできませんでした。

ご支援をいただいた全ての方々と、市長選に引き続き「市民の会」を結成し、独自の立場から支援して頂いた無党派市民の方々に、心から感謝いたします。

今回の都議選は、連続して行われる参院選を控え、都政にとどまらず国政上の問題が大きな争点になりました。日本共産党は暮らしと景気を良くしてほしいという願い、「原発ゼロの日本」への願い、憲法9条を

守り生かすという願いを託してほしいと訴え選挙戦をたたかいました。この訴えは、選挙後の一般報道にも反映し、「反アベノミクス、原発ゼロ、憲法改正反対を明確に打ち出し、政権批判票の受け皿になったことは間違いない（6月24日付「朝日」）」などと報道されています。

定数2を4人の有力候補が争った日野選挙区では、憲法改悪をめざす勢力による議席独占を許さず、ちかざわ美樹候補の当選で憲法を守り暮らしに生かす一議席を実現すること。大型開発優先の都政に対し、都民の暮らし、福祉・子育てを第一にする都政への転換を訴え、認可保育園や特養老

もに「市民の願いを集め憲法が生きる都政を！日野市民の会」の推薦を受けてたたかうことができたことは、大変心強いことでした。

まもなく始まる参院選挙では「今度は共産党かな、でも…」というひとりでも多くの方々に、党の真の姿を知っていただく先頭に立つてがんばります。今後ともどうかよろしく願い申し上げます。

ちかざわ美樹

日野選挙区の結果（定数2）【投票率42.75%】

	候補者名	党派	得票数	得票率
当選	古賀俊昭	自民党	21,231	35.18%
当選	新井ともはる	民主党	16,721	27.70%
	ちかざわ美樹	日本共産党	11,818	19.58%
	佐々木りえ	維新の会	10,573	17.52%

人ホームの大幅増設、多摩都市モノレールにシルバークロス適用などの政策を掲げたたたかいました。また、東京都による「ごみ広域化」の押し付けを許さず、計画の白紙撤回、大型焼却炉ストップを訴えました。

当選には至りませんでした。だがこれらの訴えや政策は、党派をこえて市民のみなさんの共感をいただきました。

引きつづき、選挙戦で掲げた公約の実現と参院選での躍進をめざし、全力をつくします。

中野あきと

短信

「めでたさも中くらいなり
おらが春」 日野で選挙をたたかいた者の端的な心境です▼都議選で全
都では大きく躍進しまし
た。しかし「村松前都議が失
た議席を取り戻そう」と挑んだ
日野選挙区では、定数2の壁
に阻まれ当選を果たすことは
できませんでした。地域の方々に
お詫びすると、返ってくる言葉
が暖かい。労いとともに16年ぶ
りの大躍進を率直に喜んで頂
けます▼メディアの世論調査で
は、投票した無党派層の2割ち
かくが日本共産党に投票して
います。この要因はどこにある
のか。「主要な政策テーマで自
民党との対決色を鮮明に打ち
出した結果、大幅に議席を積
み増した（東京）」と報じている
ように、自民党政治に対する
批判の受け皿としての評価に
あります▼先ごろ、自民党古
賀誠元幹事長が「しんぶん赤
旗」に登場し、各紙で驚きを持
って報道されました。古賀さん
は「憲法の平和条項は世界遺産
」と言い、「本当の二大政党は自
民党と共産党」と述べました▼
多くの有権者から「任せて安心
」の評価を頂けるよう、批判政
党という位置に安住するわけに
はいきません。これからが本当
の頑張りどころです。(K)

ごみ広域化は きっぱり白紙に！

中野あきと

昨秋に内部決定したとして突然持ち出されてきた「ごみ広域化・大規模焼却施設の建設問題について、4月の市長選挙で当選した大坪新市長は推進したいとの立場を表明。6月上旬には国分寺市と小金井市の市長とともに地元住民への説明会を行いました。

そうした状況を踏まえ、大坪市長の認識を以下の4点にわたってただし、白紙撤回を迫りました。

①東京都からの要請にもとづくものと言われるが、そもそも日野市の「脱焼却」の「ごみゼロ方針」と東京都の「焼却中心」「広域化」の「ごみ方針」はまったく違うもの。市は自ら掲げた方針を投げ捨てるのか。

②高度処理設備の設置で「環境負荷は小さくなる」「大丈夫だ」と説明するが、燃やせばどんな有害物質が発生しているかわからないので、できるだけ燃やさないようにするとの立場を示してきたはずではないか。いま、どうして安全だとか大丈夫だとか言い切れるのか。

③4月15日付の広報で示された単独と広域化の建設費の比較の仕方はまったくおかしい。設計額と落札額というベースの違う金額を並べて比較している。広域化の方を安く見せるために意図的に操作していると言われている。仕方がない問題で、行政情報への信頼性が損なわれるようなやり方ではないか。

④この間の一連の手続き、進め方は、住民の怒りと不信を拡大しているだけだ。「理解を得た上ですめる」と言う大坪市長の発言に照らしても、白紙に戻す以外に打開の道はない。

部長とのやり取りの後、答弁にたった大坪市長は「(2)市長をお招きしての説明会で」さらに厳しい意見をいただいたなどというのが感想」「ごみ広域化を進めるために、ご理解いただくのはなかなか大変かなという認識はございます」「ただ立場としては、ご理解をいただいた上で進めるといふ立場に変わりはありません」「市民の合意についてはとつていかなければならない。その上ではじめて前に進めるのかなと思っています」と答弁しました。

「慰安婦」問題の発言撤回を求める決議案

自民、公明、民主などがこぞって反対し否決

橋下徹維新の会代表の「慰安婦制度は必要だった」などの発言の撤回を求める決議案を、6月20日の市議会最終日の本会議に、日本共産党市議団が提案しました。これに対し、「本人は反省している」「市議会の決議になじまない」などの理由を述べながら自民、公明、民主などの多数の議員が反対の態度をとり、否決されました。

発言者13人のほとんどが

「ごみ広域化処理」反対を表明

日野市の住民説明会に参加して

6月27日夜、市立七生中学校で行われた日野市の「ごみ広域化処理」住民説明会に参加しました。(日野市は中学校区ごとに8か所で説明会開催中)

参加者は50人近くでした。資料にもとづいて説明があった後、参加者から次々に発言がありましたが、発言者13人のほとんどが「広域化処理」反対を表明しました。また何人かからは手続き・手法に「疑問」の表明もありました。

多くの発言者からは「南平地域からはクリーンセンターの煙突は見えないけれども・・・反対」と前置きがあったのが印象に残りました。

「この広域化処理計画は決まったことなのか」の質問に、大坪冬彦市長は「日野市はこの案で『進めたい』」と思っているが、決まったことではない。だからこのように住民説明会を開いている」と答えました。

最後は発言を求める多くの参加者を無視して、「時間です」と司会者が強引に閉会を宣言、怒号が飛び交う中での「説明会」でした。(S・Y)

参議院「選挙制度解説」

選挙区は個人名での投票になります。

比例代表は、政党名でも個人名でも投票できます。

《2013年 8月の無料法律相談》
市役所6階 共産党控室 午後1時～3時
8月 8日(木)

「感想・ご意見
お寄せ下さい。」



写真
は6月8日
東部会館
での「ごみ
広域化処理」
説明会

【区画整理懇談会開かれる】

中野あきと市議を助言者とする区画整理懇談会が、6月30日、東・西平山地域および豊田地域それぞれで開催されました。区画整理の基本や、出席者の疑問などを出し合って話し合いました。また、東芝跡地に計画されている物流施設と区画整理の関連について、多くの意見が出されました。

《お詫び》6月号は選挙の関連で休刊しました。本号は6・7月合併号になります。